

令和８年度 第３回大津町地域公共交通会議

日時：令和8年8月17日（月）10：00～

場所：役場３階 会議室 302

【事務局】

定刻となりました。ただいまより令和８年度第３回大津町地域公共交通会議を開催いたします。よろしくお願いいたします。大津町では挨拶運動を行っていますので、挨拶から始めたいと思います。皆様ご起立をお願いします。皆様、おはようございます。ご着席ください。

本日の進行を務めさせていただきます大津町総合政策課の蔵森です。よろしくお願いいたします。本日は、災害対応等でご多用の中、ご出席いただきありがとうございます。

なお、本日は石崎タクシーの石崎様、熊本県自動車交通労働組合の宗像様、熊本県交通政策課の松田様、熊本県北広域本部振興課の野田様よりご欠席の連絡をいただいております。委員の出席は過半数を超えておりますので、大津町地域公共交通会議設置要綱第５条第２項により、本日の会議は成立していることをご報告させていただきます。

それでは会長挨拶です。本会議会長の柿本会長よりご挨拶をお願いいたします。

【会長】

おはようございます。座ったままご挨拶させていただきます。７月２８日の熊本地震では大変驚きました。皆様大丈夫でしたでしょうか。現在、罹災証明の受付などが進んでおりますが、大津町でも少なからず被害が出ているものと思われます。

私は八代市出身で実家も断層の影響で被害が出ており、昨年の浸水被害・半壊に続き、今回もまた半壊という状況です。この暑い中での対応は非常に大変だと感じております。

先日、帰省した際に最も痛感したのは交通渋滞です。八代の実家へ行くのに３時間を要し、帰りも同様でした。昨年の浸水被害時と今年の熊本地震時の状況として、鉄道や高速道路が一部使えない状況の中で、代替手段としてバスが運行していました。こういった際に、公共交通の多様性がいかに重要かを改めて実感いたしました。

本会議では普段使いの公共交通について議論いたしますが、普段の中で多様な交通手段を確保していくかを念頭に進めていかないと被災した際に機能できない状況になります。普段どのように公共交通を使っていくか、そして非常時にいかに活用できるのかを考えながら議論できればと思います。よろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。それでは、議事に入る前に会議資料の確認をさせていただきます。

～資料確認～

これからの議事の進行につきましては柿本会長にお願いします。よろしくお願いいたします。

【会長】

それでは、議事を進めてまいりたいと思います。

議事①「令和７年度大津町地域公共交通会議決算報告」について、事務局より説明をお願いします。

～ 議事について事務局より説明 ～

【会長】

ただいま事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問はございますか。

※意見特になし

【会長】

ありがとうございます。

それでは、議題②「令和８年度大津町地域公共交通会議予算案」について、事務局より説明をお願いします。

～ 議事について事務局より説明 ～

【会長】

ただいま事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問はございますか。

事業費の実証運行業務委託と計画策定業務委託は、一括して発注されているのでしょうか。

【事務局】

別々に発注しています。

【会長】

それぞれ契約金額はいくらになりますか。

【事務局】

まちなかバスの実証運行委託料が 330 万円、計画策定業務の委託料が 456 万 5 千円となっております。

【会長】

ありがとうございます。

そのほか、ございませんでしょうか。

※意見特になし

【会長】

それでは、議題③「大津町地域公共交通計画（案）の目標及び実施施策」について、事務局より説明をお願いします。

～ 議事について事務局より説明 ～

【会長】

ただいま事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問はございますか。

目標指標について伺います。指標 1-1 肥後大津駅の乗車人員を 3,229 人から 5,689 人へと、約 2,400 人増やす設定になっています。これは後述する実施施策と連動する数値だと思います。どの OD（移動の起点と終点）における交通手段の転換を想定していますか。例えば、現状の自家用車利用者が鉄道へ転換することを想定しているのか、あるいはバスなど他の交通手段から鉄道へシフトすることを想定しているのか。大津町がアクセスを良くしたとしても、受ける側（相手側）も同様に取り組んでくれないと効果が出ないと考えますが、その点についてどのように考えていますか。

【事務局】

肥後大津駅における乗車人員の目標値については、振興総合計画の目標値を準用しております。こういった OD から乗車に転換するかといった分析までは実施できておりませんが、肥後大津駅の乗車人員を増やしていくというところで、現在、熊本県や沿線市町と JR 豊肥本線の輸送力強化に関する協議を進めています。あわせて、肥後大津駅周辺のまちづくりや二次交通の充実にも取り組んでいく予定です。肥後大津駅の利用者だけが増加しても、二次交通が充実していなければ、公共交通への転換が難しい面もございますので、公共交通を利用しやすい環境づくりを進めていきたいと考えております。

【会長】

ありがとうございます。今後は具体的な協議を進めながら、相手方とも連携を密にして考えていってください。

そのほか、ご意見、ご質問はございますか。

【委員】

資料 3 ページの指標 1-3 地域幹線バスの利用者数について、熊本県の計画では 1.3 倍の増加を目指していたかと思いますが、資料に記載のある 1.15 倍の根拠を教えてください。

【事務局】

熊本県地域公共交通計画における利用者数の目標につきまして、都市圏幹線と地域幹線とコミュニティ交通の分類で設定されています。都市圏幹線が 1.3 倍の増加と設定されており、地域幹線については 1.15 倍を目指すという考え方が県計画の 47 ページに示されており、本計画で対象としております山鹿線と三里木線については、地域幹線に位置づけていますので、目標値を 1.15 倍に設定しております。

【会長】

後述している施策と連動して、目標値が達成できるのかを具体的に検討する必要があると思います。施策と目標値の連動について、どのように考えていますか。

【事務局】

基本的には、上位・関連計画の考え方との整合を図ることが必要になりますので、本計画だけで

目標値を検討してしまうと上位・関連計画の考え方とそぐわないことになってしまいます。そういったことは避けて目標値を設定しております。実施施策の効果予測から目標値に関するシミュレーションまでは実施できておりませんので、施策の内容についても関係者と連携してこういった取組を進めていくかは、事業を進める中で調整していくことになると思います。施策の内容についても再度事務局で検討いたします。

【会長】

ありがとうございます。

そのほか、ご意見、ご質問はございますか。

【委員】

今後5ヶ年でバスのダイヤ改正等も実施していく予定です。ダイヤ改正等に伴って、昨年10月に肥後大津駅北口のロータリーが開通していますが、現状は、非常に手狭でバスが2台停車可能、1台は時間調整できる待機所がありますが、今後利用者の増加を目指していくのであれば、肥後大津駅の拡張も検討してほしいです。肥後大津駅の整備について、都市計画課で計画があるのでしょうか。また、近隣住民からエンジン音に対する苦情も寄せられています。

【委員】

都市整備部です。駅の拡張については、JRとの協議もございますので、現時点で断言はできませんが、現在、駅周辺のまちづくりを考えており、今後も地域住民のご意見を聞きながら取組を進めていく予定です。北口のロータリーについても今後の計画を踏まえながら、可能であれば拡張も検討していきます。いずれにしても地域住民の意見を聞きながら、進めていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

【会長】

都市計画課で立地適正化計画を策定されていると思いますが、都市機能誘導区域内における機能の拡張はないということでしょうか。

【委員】

駅の北と南については、線路で分断されていますので、その部分については自由通路を計画して行き来をしやすいなどを考えています。

【会長】

面積などの問題もあるかと思います。現時点ですぐにバス等が乗り入れるようにはできないということでしょうか。

【委員】

その通りです。用地の確保も必要になりますので、現時点ですぐにというのが言えない部分ではありますが、可能であれば将来的に検討していきたいと思います。

【会長】

ありがとうございます。

そのほか、ご意見、ご質問はございますか。

※意見特になし

【会長】

事務局は、実施施策と目標数値の関係を整理して計画案の検討を進めてください。

それでは、議題④報告事項3件について、事務局より説明をお願いします。

～ 議事について事務局より説明 ～

【会長】

ただいま事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問はございますか。

【委員】

2点、お話がございます。

1点目は、乗合タクシーの運賃改定についてです。運賃改定の検討にあたってアンケート調査を実施するとのことですが、普通にアンケート調査を実施すると一番安い運賃に偏りが生じてしまうと思います。運行にかかる経費等の情報を示していただきながら、偏りのないようにアンケート調査の実施をお願いします。

2点目は、セミコンテクノパーク方面の通勤バスです。運輸支局としても交通事業者と企業と連携して通勤の移動手段を確保していることは、非常に良い取組だと感じています。セミコンや本田技研に関しては、バスで通勤するのが当たり前になるといったところを目指していただければと思います。利用者も順調に増加していると聞いていますので、更なる利便性の向上を期待しております。支援学校前のバス停廃止については、地域住民へ事前に丁寧な説明をしていただければと思います。

【会長】

ありがとうございます。

そのほか、ご意見、ご質問はございますか。

※意見特になし

【会長】

それでは予定されておりました議事は終了させていただきます。これ以降の進行につきましては事務局にお返しいたします。

【事務局】

会長、ありがとうございました。委員の皆様におかれましても、円滑な議事の進行にご協力頂き

ありがとうございました。

委員の皆様より、何かご連絡等はございませんでしょうか。

※特になし

【事務局】

事務局よりご連絡です。今年度は、地域公共交通計画の策定にあたり、10月から11月にかけて公共交通会議を開催し、年明けの1月頃に最後の公共交通会議を開催予定です。会議の日程等が決まりましたら、改めて委員の皆様にはご連絡いたしますので、引き続きよろしくお願いいたします。また、委員の皆様の任期は令和8年9月30日までとなっております。9月中を目途に改めて各団体等へ委員の推薦依頼を行う予定ですので、よろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、第3回大津町地域公共交通会議を閉会いたします。最後は挨拶で終わりたいと思います。皆様ご起立をお願いいたします。皆様ありがとうございました。